

## 平成29年度改善計画(案)

【函館市生活交通路線のうち平均乗車密度が5人未満の路線】

- |                            |        |
|----------------------------|--------|
| 1 下海岸線② (日ノ浜団地～海向山～榎法華支所前) | 1～2ページ |
| 2 下海岸線③ (日ノ浜団地～恵山御崎)       | 3～4ページ |
| ■運行系統図                     | 5ページ   |
| ■停留所別乗降データ                 | 6～7ページ |
| 3 鹿部海岸線② (南茅部支所前～川汲～古部)    | 8～9ページ |
| ■運行系統図                     | 10ページ  |
| ■停留所別乗降データ                 | 11ページ  |

函館バス株式会社



I 改善計画案 (事業者が記載)

1 路線の概要

路線名：下海岸線② (運行実績期間：H27.10～H28.9)

運行系統					運行ダイヤ				
起点	主な 経由地	終点	キロ程 (km)	運賃 (円)	始発時刻	終発時刻	所要時間	運行回数 (平均)	実車走行 キロ (km)
日ノ浜 団地	海向山	榎法華 支所前	7.5	400	7:19 14:41	18:03 18:20	12	4.4	24,435.0

輸送実績		経常費用 (円)	経常収益 (円)	費用－収益 (円)	補助見込額
平均乗車 密度	輸送量	(A)	(B)	(A)－(B)	(千円)
1.8	7.9	6,758,721	2,836,571	3,922,150	限度額 3,041

資料：運行系統図

2 路線の収支および補助額の推移 (過去3カ年)

区 分	前々年度	前年度	当年度
経常費用 (A) (円)	6,973,868	6,826,400	6,758,721
経常収益 (B) (円)	2,973,266	2,828,122	2,836,571
(A)－(B) (円)	4,000,602	3,998,278	3,922,150
補助金額 (千円)	3,138	3,071	3,041
運行実績期間	H25.10～H26.9	H26.10～H27.9	H26.10～H27.9

3 路線の維持、必要性の検討

(1) 代替性

① 重複および近接する路線 有 ・ (無) → (2) 機能性・需要量へ

② 重複および近接する路線の概要

路線名	運行系統				運行ダイヤ				輸送実績		
	起点	主な 経由地	終点	キロ程 (km)	運賃 (円)	始発時刻	終発時刻	所要時間	運行回数 (平均)	平均乗車 密度	輸送量

(2) 機能性・需要量

① 路線沿線の施設 (学校, 病院, 公共施設, 商業施設等) (有) ・ 無 → (3) 地域振興へ

② 路線沿線の主な施設

恵山支所・榎法華支所
------------

③ 平均乗車密度の推移 (過去3カ年) (人)

区 分	前々年度	前年度	当年度
平均乗車密度	1.9	1.8	1.8
運行実績期間	H25.10～H26.9	H26.10～H27.9	H27.10～H28.9

資料：停留所別乗降データ (調査日：平成28年9月15日)

(3) 地域振興

戸井支所, 恵山支所, 榎法華支所, 南茅部支所の所管区域の経由 (有) ・ 無

4 収支改善のための具体的な方策

(戸井支所, 恵山支所, 榎法華支所, 南茅部支所の所管区域を経由する路線については必要に応じて記載。)

- 当該路線については、一部、函館駅方面から恵山までの広域的な路線と接続し、榎法華に行く系統であるため、見直す際には、総体的に見直す必要がある。
- 現在、東部4地域の病院バス・温泉バス等の路線バス化について、函館市が策定を予定している再編実施計画の中で検討が進められている。

<ダイヤの見直し>

※バスに乗り込み、利用者への聞き取りを実施し、減便する一方、要望のあった時間を設定し、利便性向上を図った。

・平成28年11月1日に、当該路線の見直しを図った。(見直し内容は下記のとおり)

- ①利用の少ない便を減便し、効率化を図った。  
(運行回数：変更前・平土日祝共通4.5回→変更後・平土日祝共通3.5回)
- ②午前中に、恵山病院及び函館駅方面に行く手段を利用者に提供するため、新たな時間を設定した。  
(当路線 榎法華支所10:22発→日ノ浜団地10:34着)  
(別の路線へ乗換え 日ノ浜団地発10:35発→「恵山病院・函館駅方面行き」)

<バス利用促進策として>

①地域住民に対して

- ・バスの利用促進策として、毎年、町会連合会及び町内会への函館市交通料金助成制度の周知徹底を図っている。制度開始の平成24年度に比べて、徐々に交付率は高まっている。今後も、交通料金助成制度の周知徹底をしながら、地域住民の要望を確認していく。
- ・ICカード(ICAS nimoca)を町内会・企業等へ周知を図り、利用促進を図る予定。
- ・ICカード(ICAS nimoca)のキャンペーンを実施する予定。

・小学生、中学生を対象に、夏休み・冬休み期間に提示すると、函館市内を1乗車につき小学生は50円、中学生は100円で、バスを利用できる乗車券「バス冒険キング」を配布し、利用促進を図る。

②観光客に対して(観光客を路線バスに呼び込む施策)

- ・北海道新幹線新駅沿線協議会(函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・JR北海道・函館市企業局・津軽海峡フェリー・函館バス)発案の『はこだて旅するパスポート』(JR・函館市電・道南いさりび鉄道・函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・木古内町管内の路線バスが2日間乗り放題の共通フリー乗車券：大人3,080円 こども1,540円 ※津軽海峡フェリーはパスポートを提示すると20%割引)を販売し、観光客のバス利用の促進を図っている。なお、『はこだて旅するパスポート』のパンフレットには、東部4地域の路線バスで行くモデルコースも掲載されている。
- ・海外の個人旅行者は、全国相互利用ができる、交通系ICカード(スイカやパスモ等)を所有している人が多いため、個人旅行者向けのアジアのインターネットサイト「悠々北海道」に当社の路線バスで、新たに使用できることになったことをPRし、利便性向上を図る予定。

改善しない場合の理由

( )

\*\*\*\*\*

II 函館市生活交通協議会における協議 (市が記載)

① 収支改善のための具体的な方策への意見等

[ ]

② 路線維持・補助の必要性について

必要性 有 ・ 無

↓ ( )

III 改善計画 (事業者が記載)

① 函館市生活交通協議会の意見に対する事業者の検討結果

[ ]

② 実施日 ( )

I 改善計画案 (事業者が記載)

1 路線の概要

路線名：下海岸線③ (運行実績期間：H27.10～H28.9)

運行系統					運行ダイヤ				
起点	主な 経由地	終点	キロ程 (km)	運賃 (円)	始発時刻	終発時刻	所要時間	運行回数 (平均)	実車走行 キロ (km)
日ノ浜 団地		恵山御崎	6.3	350	7:36 18:25	—	17	0.9	4,561.2

輸送実績		経常費用 (円)	経常収益 (円)	費用－収益 (円)	補助見込額
平均乗車 密度	輸送量	(A)	(B)	(A)－(B)	(千円)
0.8	0.7	1,261,627	216,427	1,045,200	限度額 567

資料：運行系統図

2 路線の収支および補助額の推移 (過去3カ年)

区 分	前々年度	前年度	当年度
経常費用 (A) (円)	1,313,820	1,273,872	1,261,627
経常収益 (B) (円)	264,045	219,843	216,427
(A)－(B) (円)	1,049,775	1,054,029	1,045,200
補助金額 (千円)	591	573	567
運行実績期間	H25.10～H26.9	H26.10～H27.9	H27.10～H28.9

3 路線の維持、必要性の検討

(1) 代替性

① 重複および近接する路線 有 ・ (無) → (2) 機能性・需要量へ

② 重複および近接する路線の概要

路線名	運行系統				運行ダイヤ				輸送実績		
	起点	主な 経由地	終点	キロ程 (km)	運賃 (円)	始発時刻	終発時刻	所要時間	運行回数 (平均)	平均乗車 密度	輸送量

(2) 機能性・需要量

① 路線沿線の施設 (学校, 病院, 公共施設, 商業施設等) (有) ・ 無 → (3) 地域振興へ

② 路線沿線の主な施設

恵山支所
------

③ 平均乗車密度の推移 (過去3カ年) (人)

区 分	前々年度	前年度	当年度
平均乗車密度	0.8	0.8	0.8
運行実績期間	H25.10～H26.9	H26.10～H27.9	H27.10～H28.9

資料：停留所別乗降データ (調査日：平成28年9月15日)

(3) 地域振興

戸井支所, 恵山支所, 榎法華支所, 南茅部支所の所管区域の経由 (有) ・ 無

#### 4 収支改善のための具体的な方策

(戸井支所, 恵山支所, 椴法華支所, 南茅部支所の所管区域を経由する路線については必要に応じて記載。)

○現在, 東部4地域の病院バス・温泉バス等の路線バス化について, 函館市が策定を予定している再編実施計画の中で検討が進められている。

<ダイヤの見直し>

- ・平成28年11月1日に, 地域住民の意見を反映し, 時刻改正を実施した。  
(変更前・日ノ浜団地7:36発→変更後・日ノ浜団地8:00発)

<バス利用促進策として>

①地域住民に対して

- ・バスの利用促進策として, 毎年, 町会連合会及び町内会への函館市交通料金助成制度の周知徹底を図っている。制度開始の平成24年度に比べて, 徐々に交付率は高まっている。今後も, 交通料金助成制度の周知徹底をしながら, 地域住民の要望を確認していく。
- ・ICカード (ICAS nimoca) を町内会・企業等へ周知を図り, 利用促進を図る予定。
- ・ICカード (ICAS nimoca) のキャンペーンを実施する予定。
- ・小学生, 中学生を対象に, 夏休み・冬休み期間に提示すると, 函館市内を1乗車につき小学生は50円, 中学生は100円で, バスを利用できる乗車券「バス冒険キング」を配布し, 利用促進を図る。

②観光客に対して (観光客を路線バスに呼び込む施策)

- ・北海道新幹線新駅沿線協議会 (函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・JR北海道・函館市企業局・津軽海峡フェリー・函館バス) 発案の『はこだて旅するパスポート』 (JR・函館市電・道南いさりび鉄道・函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・木古内町管内の路線バスが2日間乗り放題の共通フリー乗車券: 大人3,080円 こども1,540円 ※津軽海峡フェリーはパスポートを提示すると20%割引) を販売し, 観光客のバス利用の促進を図っている。なお, 『はこだて旅するパスポート』のパンフレットには, 東部4地域の路線バスでいくモデルコースも掲載されている。
- ・海外の個人旅行者は, 全国相互利用ができる, 交通系ICカード (スイカやパスモ等) を所有している人が多いため, 個人旅行者向けのアジアのインターネットサイト「悠々北海道」に当社の路線バスで, 新たに使用できることになったことをPRし, 利便性向上を図る予定。

改善しない場合の理由

( )

\*\*\*\*\*

## II 函館市生活交通協議会における協議 (市が記載)

① 収支改善のための具体的な方策への意見等

② 路線維持・補助の必要性について

必要性 有 ・ 無



( )

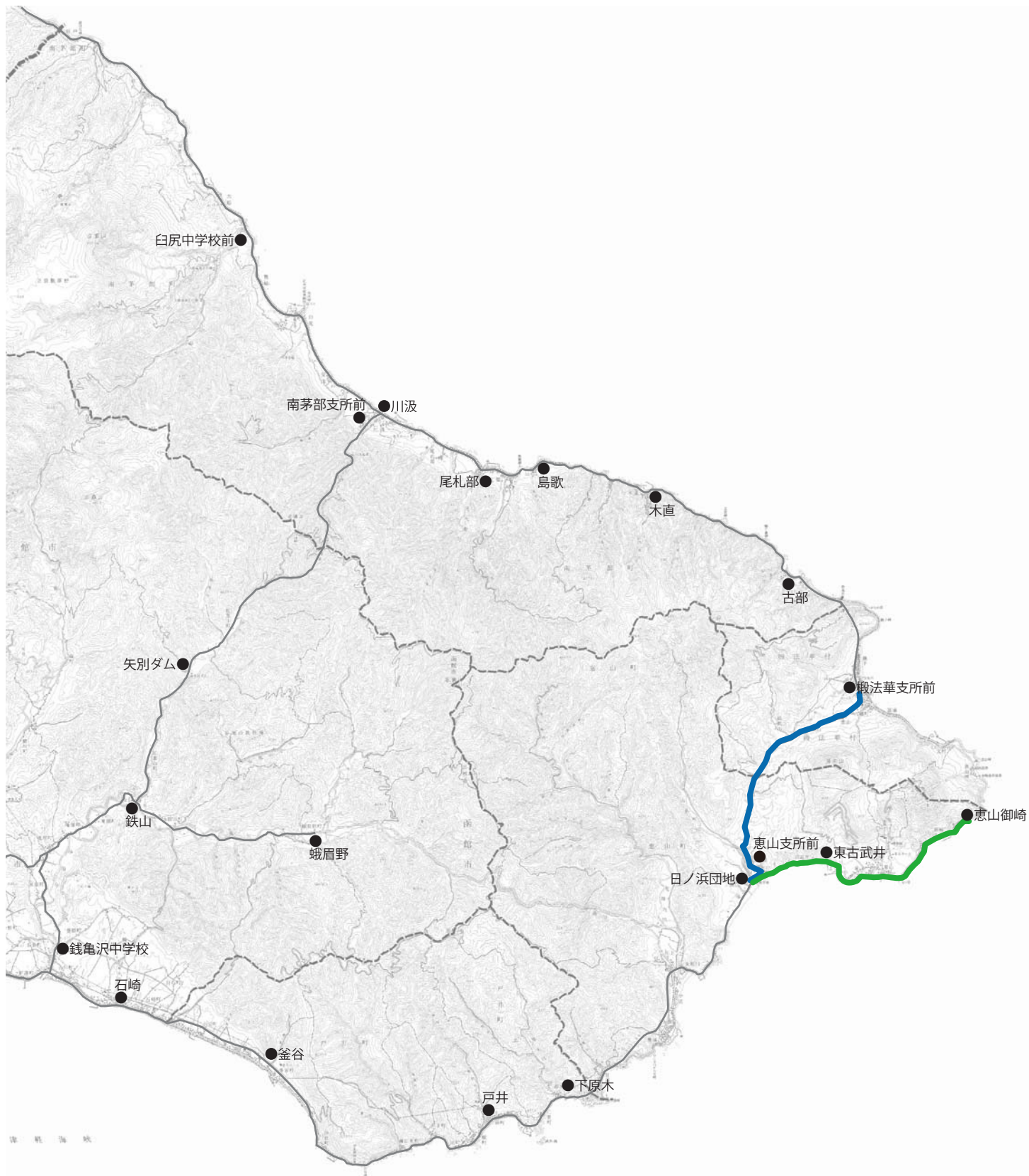
## III 改善計画 (事業者が記載)

① 函館市生活交通協議会の意見に対する事業者の検討結果

② 実施日 ( )

# 運行系統図

- 下海岸線② (日ノ浜団地～海向山～楳法華支所前)
- 下海岸線③ (日ノ浜団地～恵山御崎)



停留所別乗降データ(単位:人)

調査日:平成28年9月15日(木)

運行系統名	起点	経由	終点	キロ程	運行回数
下海岸線②	日ノ浜団地	海向山	楯法華支所前	7.5	2.5

停留所連番号	停留所名	7:19発			13:15発			15:00発			16:22発			18:03発			合計		
		乗車	降車	通過	乗車	降車	通過	乗車	降車	通過	乗車	降車	通過	乗車	降車	通過	乗車	降車	通過
1	日ノ浜団地				2											2			
2	絵紙山						2											2	
3	海向山						2											2	
4	楯法華小学校前						2											2	
5	楯法華支所前					2	2										2	2	
合計					2	2										2	2		

運行系統名	起点	経由	終点	キロ程	運行回数
下海岸線②	楯法華支所前	海向山	日ノ浜団地	7.5	2.0

停留所連番号	停留所名	14:41発			16:05発			17:38発			18:20発			合計		
		乗車	降車	通過	乗車	降車	通過	乗車	降車	通過	乗車	降車	通過	乗車	降車	通過
1	楯法華支所前	2											2			
2	楯法華小学校前			2											2	
3	海向山			2											2	
4	絵紙山			2											2	
5	日ノ浜団地		2	2										2	2	
合計		2	2										2	2		



## 停留所別乗降データ（単位：人）

調査日：平成28年9月15日(木)

運行系統名	起点	経由	終点	キロ程	運行回数
下海岸線③	日ノ浜団地	古武井	恵山御崎	6.3	0.5

停留所連番号	停留所名	7:36発		
		乗車	降車	通過
1	日ノ浜団地	1		
2	恵山支所前			1
3	古武井漁組前			1
4	古武井			1
5	東古武井			1
6	恵山築港			1
7	恵山中学校前			1
8	恵山登山口			1
9	恵山			1
10	七つ岩			1
11	上御崎			1
12	恵山御崎		1	1
合 計		1	1	

運行系統名	起点	経由	終点	キロ程	運行回数
下海岸線③	恵山御崎	古武井	日ノ浜団地	6.3	0.5

停留所連番号	停留所名	18:25発		
		乗車	降車	通過
1	恵山御崎			
2	上御崎			
3	七つ岩			
4	恵山			
5	恵山登山口			
6	恵山中学校			
7	恵山築港			
8	東古武井			
9	古武井			
10	古武井漁組前			
11	恵山支所前			
12	日ノ浜団地			
合 計				

I 改善計画案 (事業者が記載)

1 路線の概要

路線名：鹿部海岸線② (運行実績期間：H27.10～H28.9)

運行系統					運行ダイヤ				
起点	主な 経由地	終点	キロ程 (km)	運賃 (円)	始発時刻	終発時刻	所要時間	運行回数 (平均)	実車走行 キロ (km)
南茅部 支所前	川汲	古部	15.7	640	17:53 17:22	—	28	0.9	11,366.8

輸送実績		経常費用 (円)	経常収益 (円)	費用－収益 (円)	補助見込額
平均乗車 密度	輸送量	(A)	(B)	(A)－(B)	(千円)
2.3	2.0	3,144,056	1,455,368	1,688,688	限度額 1,414

資料：運行系統図

2 路線の収支および補助額の推移 (過去3カ年)

区 分	前々年度	前年度	当年度
経常費用 (A) (円)	3,269,625	3,148,407	3,144,056
経常収益 (B) (円)	1,482,465	1,490,873	1,455,368
(A)－(B) (円)	1,787,160	1,657,534	1,688,688
補助金額 (千円)	1,471	1,416	1,414
運行実績期間	H25.10～H26.9	H26.10～H27.9	H27.10～H28.9

3 路線の維持、必要性の検討

(1) 代替性

① 重複および近接する路線 有 ・ (無) → (2) 機能性・需要量へ

② 重複および近接する路線の概要

路線名	運行系統				運行ダイヤ				輸送実績		
	起点	主な 経由地	終点	キロ程 (km)	運賃 (円)	始発時刻	終発時刻	所要時間	運行回数 (平均)	平均乗車 密度	輸送量

(2) 機能性・需要量

① 路線沿線の施設 (学校, 病院, 公共施設, 商業施設等) (有) ・ 無 → (3) 地域振興へ

② 路線沿線の主な施設

南茅部支所・尾札部中学校・磨光小学校・南茅部高校
--------------------------

③ 平均乗車密度の推移 (過去3カ年) (人)

区 分	前々年度	前年度	当年度
平均乗車密度	2.3	2.4	2.3
運行実績期間	H25.10～H26.9	H26.10～H27.9	H27.10～H28.9

資料：停留所別乗降データ (調査日：平成28年9月15日)

(3) 地域振興

戸井支所, 恵山支所, 椴法華支所, 南茅部支所の所管区域の經由 (有) ・ 無

4 収支改善のための具体的な方策

(戸井支所, 恵山支所, 楳法華支所, 南茅部支所の所管区域を経由する路線については必要に応じて記載。)

○現在, 東部4地域の病院バス・温泉バス等の路線バス化について, 函館市が策定を予定している再編実施計画の中で検討が進められている。

<バス利用促進策として>

①地域住民に対して

- ・バスの利用促進策として, 毎年, 町会連合会及び町内会への函館市交通料金助成制度の周知徹底を図っている。制度開始の平成24年度に比べて, 徐々に交付率は高まっている。今後も, 交通料金助成制度の周知徹底をしながら, 地域住民の要望を確認していく。
- ・ICカード (ICAS nimoca) を町内会・企業等へ周知を図り, 利用促進を図る予定。
- ・ICカード (ICAS nimoca) のキャンペーンを実施する予定。
- ・小学生, 中学生を対象に, 夏休み・冬休み期間に提示すると, 函館市内を1乗車につき小学生は50円, 中学生は100円で, バスを利用できる乗車券「バス冒険キング」を配布し, 利用促進を図る。

②観光客に対して (観光客を路線バスに呼び込む施策)

- ・北海道新幹線新駅沿線協議会 (函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・JR北海道・函館市企業局・津軽海峡フェリー・函館バス) 発案の『はこだて旅するパスポート』 (JR・函館市電・道南いさりび鉄道・函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・木古内町管内の路線バスが2日間乗り放題の共通フリー乗車券: 大人3,080円 こども1,540円 ※津軽海峡フェリーはパスポートを提示すると20%割引) を販売し, 観光客のバス利用の促進を図っている。なお, 『はこだて旅するパスポート』のパンフレットには, 東部4地域の路線バスでいくモデルコースも掲載されている。
- ・海外の個人旅行者は, 全国相互利用ができる, 交通系ICカード (スイカやパスモ等) を所有している人が多いため, 個人旅行者向けのアジアのインターネットサイト「悠々北海道」に当社の路線バスで, 新たに使用できることになったことをPRし, 利便性向上を図る予定。

改善しない場合の理由

( )

\*\*\*\*\*

II 函館市生活交通協議会における協議 (市が記載)

① 収支改善のための具体的な方策への意見等

[Empty box for comments]

② 路線維持・補助の必要性について

必要性 有 ・ 無

↓ ( )

III 改善計画 (事業者が記載)

① 函館市生活交通協議会の意見に対する事業者の検討結果

[Empty box for results]

② 実施日 ( )



停留所別乗降データ（単位：人）

調査日：平成28年9月15日(木)

運行系統名	起点	経由	終点	キロ程	運行回数
鹿部海岸線②	南茅部支所前	尾札部	古部	15.7	0.5

停留所連番号	停留所名	17:53発		
		乗車	降車	通過
1	南茅部支所前	4		
2	川汲			4
3	宮前			4
4	清水			4
5	谷地町			4
6	岬			4
7	磨光			4
8	磨光小学校前			4
9	著保内			4
10	後駒			4
11	尾札部母と子の家			4
12	尾札部		1	4
13	尾札部郵便局前			3
14	尾札部中学校前		1	3
15	上見日			2
16	見日			2
17	下見日			2
18	島歌			2
19	汀浦			2
20	ポン木直		1	2
21	ピリカ浜			1
22	木直			1
23	割石			1
24	白井川		1	1
25	大槻			
26	立岩			
27	古部			
合計		4	4	

運行系統名	起点	経由	終点	キロ程	運行回数
鹿部海岸線②	古部	尾札部	南茅部支所前	15.7	0.5

停留所連番号	停留所名	17:22発		
		乗車	降車	通過
1	古部			
2	立岩			
3	大槻			
4	白井川			
5	割石			
6	木直	2		
7	ピリカ浜			2
8	ポン木直			2
9	汀浦			2
10	島歌			2
11	下見日			2
12	見日			2
13	上見日			2
14	尾札部中学校前			2
15	尾札部郵便局前			2
16	尾札部			2
17	尾札部母と子の家		2	2
18	後駒			
19	著保内			
20	磨光小学校前			
21	磨光			
22	岬			
23	谷地町	1		
24	清水			1
25	宮前			1
26	川汲			1
27	南茅部支所前		1	1
合計		3	3	